

パーソナル ドックシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

△警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになつたあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Made for
iPod iPhone



* 4 1 9 8 7 9 9 0 2 * (1)

©2010 Sony Corporation
Printed in China

SOUND MUG.

SRS-V500iP

△警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまつないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- ① 運転中の場合は、安全な場所に車を停める。
- ② 電源を切る。
- ③ ACパワーアダプターを接続している場合は、コンセントから抜く。
シガーエンターテイメントコードを接続している場合は、シガーライターソケットから抜く。
- ④ 本機からiPodを取りはずす。
- ⑤ お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

△警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。

△注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。



下記の注意事項を守らないと
火災・感電・発熱・発火により
死亡や大けがの原因となります。

指定以外のACパワーアダプターやシガーエンターテイメントコードを使わない

必ず指定のACパワーアダプター、またはシガーエンターテイメントコードを使用してください。

破裂や過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

△警告 下記の注意事項を守らないと
火災・感電により大けがの原因となります。

水や異物を入れない

水や異物があると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、ACパワーアダプターまたはシガーエンターテイメントコードを抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

ACパワーアダプターに水などをかけない

• 火災や感電の危険を避けるために、ACパワーアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、ACパワーアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

• 万一、水などがかかるときは、すぐにプラグを抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

ぬれた手でACパワーアダプターやシガーエンターテイメントコードを使わない

感電の原因となります。

分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

雨、水がかかる場所、温湿度の多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。

正しく設置する

本書の説明に従って正しく設置してください。正しく設置しないと、火災や感電により事故の原因となります。設置後は、確実に設置されていることを確認してください。

安定した場所に置く

ぐらついた台上や傾いたところなどに置くと、製品が落してけがの原因となります。

コード類は正しく配線する

コード類は常に引つけたり引っこばると製品の落と転倒などによりけがの原因となります。充分注意して接続・配線してください。

スピーカー本体、ドック、ACパワーアダプター、シガーエンターテイメントコードを布団などでおおった状態で使わない

熱がもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

指定以外の機器に使わない

火災やけがの原因となります。

タコ足配線をしない

配線器具をタコ足配線して定格を超えた電流が流れると、火災などの原因となります。

ACパワーアダプターコードや電源コードをACパワーアダプターに巻き付けない

断線して火災の原因となります。

電源プラグは抜き差しやすいコンセントに接続する

異常が起きた場合にプラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるように、電源プラグは容易に手の届くコンセントに接続してください。

通常、本機の電源スイッチを切っただけでは、完全に電源から切り離されません。

電源プラグは定期的に手入れをする

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、ショートして、火災の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、定期的にゴミやほこりを取ってください。

△注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

子どもの手の届かない場所に設置する

はずれた部品を飲み込んだり、落としてけがをしたりするなど、事故の原因となることがあります。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることができます。ボリュームは徐々に上げましょう。特に、デジタルオーディオプレーヤーなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときには注意してください。

雷が鳴り出したら、電源プラグや付属のケーブル、スピーカー本体やドックに触れない

感電の原因となることがあります。

通電中のスピーカー本体やドック、ACパワーアダプターに長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

長時間使用しないときはACパワーアダプターを抜く

長時間使用しないときは、安全のためACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。

通常、本機の電源スイッチを切っただけでは、完全に電源から切り離されません。

お手入れの際、ACパワーアダプターを抜く

ACパワーアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

車で使用するときのご注意

△警告 下記の注意事項を守らないと火災・感電により大けがの原因となります。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

• 運転者は歩行中に携帯や設置、操作をしない。

• 運転中に本機を注视しない。

• 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

24V車に使用しない

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。

運転操作や車体の可動部、エアバッグの動作を妨げる場所に設置しない

事故や感電、火災の原因となります。

次のことをお守りください。

• ネジやストレーナーなどの可動部にコード類をはさみまらない。

• ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。

前方の視界を妨げる場所に設置しない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。

パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認してください。

シガープラグに水などをかけない

水などがかかると火災や感電の原因となります。

万一、水などがかかるときは、すぐにブランケットを、水分をきれいに取り除いてください。

付属の部品を正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となります。

シガープラグは確実に挿入する

奥まで確実に挿入してください。挿入が不完全だと異常発熱して火災などの原因となります。また、シガープラグを差し込むときや抜くときは、イグニッションスイッチをOFFにしてください。

シガーライターソケットを点検・清掃する

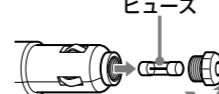
シガーライターソケットの中に煙草の灰や異物が入っていると、接触不良を起こし、シガープラグ部分が熱くなります。シガープラグが熱すると、火災などの原因となります。

コード類は正しく配線する

コード類は常に引つけたり引っこばると製品の落と転倒などによりけがの原因となります。充分注意して接続・配線してください。

規定容量のヒューズを使う

シガープラグ内部のヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



△注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。

スピーカー本体は車の純正ドリンクホルダー以外に設置しない

スピーカー本体がフレキシブルの下などに落して、運転の妨げになります。事故やけがの原因となることがあります。付属の取り付け金具とストラップを使って、正しく設置してください。



電池についての安全上の注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

ボタン電池
リチウム電池 CR2025

△危険 ボタン電池が液漏れしたとき

ボタン電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因となることがあるのでごぞごさらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い直しに医師の治療を受けください。

液が肌や衣服についたときは、やけどやけがの原因となるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症ややけがの症状があるときは医師に相談してください。

△警告

ボタン電池が液漏れしたとき

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因となることがあります。液が肌や衣服についたときは、やけどやけがの原因となるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症ややけがの症状があるときは医師に相談してください。

液が肌や衣服についたときは、やけどやけがの原因となるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症ややけがの症状があるときは医師に相談してください。

液が肌や衣服についたときは、やけどやけがの原因となるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症ややけがの症状があるときは医師に相談してください。

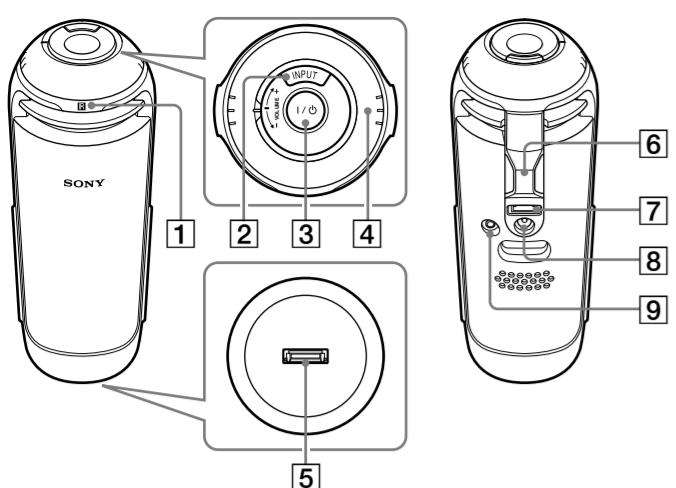
液が肌や衣服についたときは、やけどやけがの原因となるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症ややけがの症状があるときは医師に相談してください。

液が肌や衣服についたときは、やけどやけがの原因となるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症ややけがの症状があるときは医師に相談してください。

各部の名前とはたらき

スピーカー本体

前面



背面

ドック



リモコン



- ① リモコン受光部
リモコンからの信号を受けます。
- ② INPUT(入力切換)ボタン
iPodと外部機器の入力を切り替えます。
- ③ I/O(電源入/切)ボタン
本機の電源を入/切します。電源が入っているときはランプが点灯します。
- ④ VOLUME(音量)-/+ノブ
音量を調節します。
- ⑤ ドック接続端子
室内でドックに接続します。

⑥ ストラップ用フック
車内での落防用のストラップを取り付けます。

- ⑦ iPod & iPhone端子
車内でiPodを接続します。
- ⑧ DC IN 12V端子
車内でシガーエンジンコード(付属)を接続します。
- ⑨ AUDIO IN端子
(ステレオミニジャック)
車内で外部機器を接続します。

リモコンを使う前に

お買い上げ時には、リモコンに電池が入っています。

お使いになる前に、絶縁シートを引き抜いてください。

リモコンを使うときは

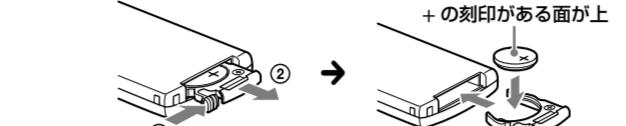
スピーカー本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

- ご注意
・スピーカー本体のリモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。
- ・スピーカー本体の設置場所や向きによって、リモコン操作できないことがあります。

リモコンの電池交換について

電池が消耗すると、リモコンで操作できる距離が短くなります。
新しいリチウムボタン電池CR2025(別売り)と交換してください。

リチウムボタン電池は、ふつうの使いかたをした場合約1年間もします。



リチウムボタン電池についてのご注意

・接觸不良を防ぐため、使用する前に電池ケースの中と電池を乾いた布でよく拭いてください。

・金属製のピッセットなどで電池をつかまないでください。ショートするおそれがあります。

△警告

- ・子供の手の届かないところに置いてください。万一電池を飲みこんだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- ・+と-の向きを正しく入れてください。
- ・充電や分解しないでください。

・電池を交換するときは、必ず同じ種類のリチウムボタン電池CR2025を使用してください。

本機に対応する iPod & iPhone



* 2010年7月現在

ご注意

- ・対応以外のiPodを本機に接続しないでください。本機で対応していないiPodを使用した際の動作は保証していません。
- ・対応しているiPodでも、本機においてすべての操作ができるわけではありません。
- ・iPodのソフトウェアのバージョンによっては、本機で操作できないことがあります。
- ・本機はiPodの音楽再生機能のみに対応しています。
- ・iPodを再生しても本機から音がしない、本機がiPodを認識しないなどの場合は、iPodを接続し直すか、リセットしてください。
- ・本機の工具などは力から音がしない、外器機などの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねません。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。
- ・iPhone 3GおよびiPhone 3GSは単独の通信業者のサービスでのみお使いいただけるよう規定されている場合があります。

家で使う

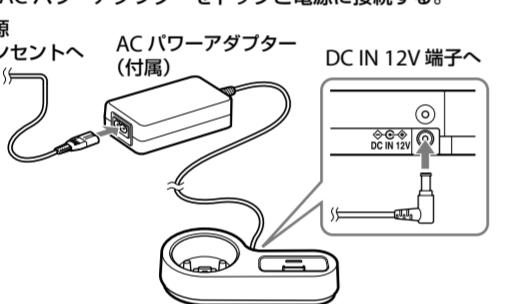
準備する

室内でiPodの音楽を聞くために必要なものを準備します。

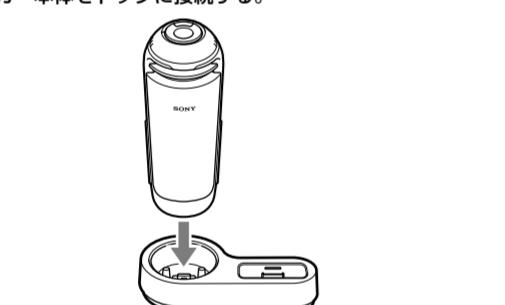
- ・スピーカー本体
- ・ドック
- ・ACパワーアダプター
- ・電源コード
- ・リモコン
- ・iPhone 3GおよびiPhone 3GS用Dockアダプタ
- ・iPod(別売り)
- ・

接続する

1 付属のACパワーアダプターをドックと電源に接続する。



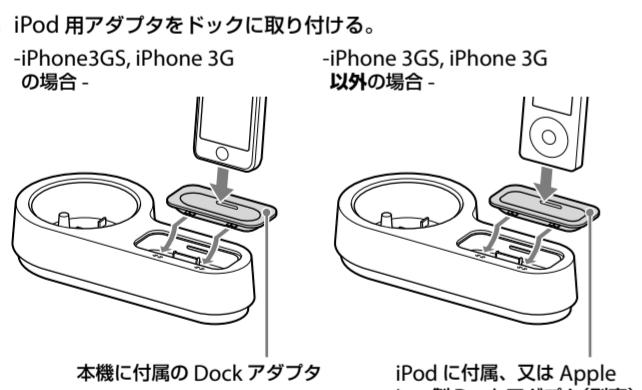
2 スピーカー本体をドックに接続する。



ご注意

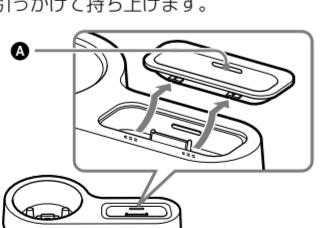
- ・スピーカー本体を、ドックにまっすぐ最後まで押し込んでください。左右に傾けると、電源が入らなかったり、音が出ない場合があります。
- ・車で使用した後などは、スピーカー本体底面の端子にゴミなどが付着していないか確認してから、ドックに接続してください。また、端子は定期的に清掃してください。

3 iPod用アダプタをドックに取り付ける。



iPod用アダプタを取りはずすときは

内側の溝(①)に爪などを引っかけて持ち上げます。



ACパワーアダプターについて

- ・ACパワーアダプターを抜くときは、あらかじめ本機の電源をお切りください。電源を入れたままACパワーアダプターを抜くと、誤動作の原因となることがあります。
- ・必ず付属のACパワーアダプター(極性統一形プラグ・JEITA規格)をご使用ください。付属以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。

- ・付属の電源コードは本機専用です。他の機器ではご使用になれません。
- ・ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ・ACパワーアダプターを本機や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。

音楽を聞く

1 I/Oボタンを押して、本機の電源を入れる。

I/Oボタンのランプが点灯します。

2 I/Oボタンのランプが3回点滅するまでVOLUMEノブを一向に回して、本機の音量を最小にする。

リモコンでは、VOL-ボタンを押します。

3 iPodをドックに接続する。

iPodドック端子の角度に沿って差し込んでください。



iPodの充電が始まります。充電の状態はiPodに表示されます。詳しくは、お使いのiPodに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意
iPodを接続するときは、カバーやケースを取りはずしてください。

△ヒント

電源が入ったスピーカー本体をドックに接続した状態で、iPodをドックに接続すると、入力が自動的にiPodに切り替わります。

4 リモコンまたはiPodを操作して、再生を開始する。

ドックに接続した状態でiPodを操作するときは、iPodを手でしっかりと支えてください。

5 VOLUME-/+ノブを回して、音量を調節する。

リモコンでは、VOL-/+ボタンを押します。

ご注意
接続した機器によっては、音量を調節すると突然大きな音が出る場合があります。

・iPhoneの通話やアプリケーションによっては、音楽の音量と異なる場合があります。お使いのiPodの取扱説明書をご確認ください。

△ヒント

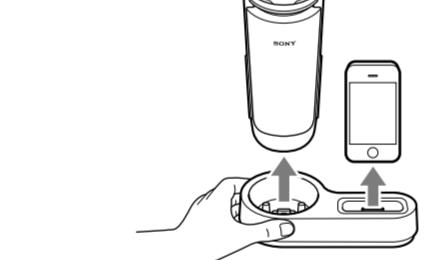
iPodを操作しても本機の音量を調節できます。

・接続した機器によっては、音量を調節すると突然大きな音が出る場合があります。

・iPhoneの通話やアプリケーションによっては、音楽の音量と異なる場合があります。お使いのiPodの取扱説明書をご確認ください。

スピーカー本体やiPodを取りはずすときは

ドックを手で押さえながら取りはずします。



ご注意

iPodを取りはずすときは、iPodドック端子の角度に沿って抜いてください。

ご注意
iPodを取りはずすときは、iPodドック端子の角度に沿って抜いてください。

その他の機器の音楽を聞く

対応iPod以外の外部機器も、本機に接続して音楽を聞けます。

接続ケーブル(別売り)を、ドックのAUDIO IN端子と外部機器に接続します。

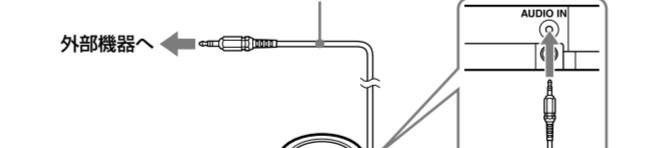
ご注意

・本機の音量を下げながら接続してください。

・接続ケーブル(別売り)の形状によっては、本機のAUDIO IN端子に接続できない場合があります。このような場合は、無理に差し込まないでください。本機の故障の原因となることがあります。

・iPodをiPodドック端子に接続した状態で外部機器を再生している場合は、iPodの音量を操作しても外部機器の音量は調節できません。

接続ケーブル(別売り)



1 I/Oボタンを押して、本機の電源を入れる。

I/Oボタンのランプが点灯します。

2 I/Oボタンのランプが3回点滅するまでVOLUMEノブを一向に回して、本機の音量を最小にする。

INPUTボタンを押して、外部機器に入力を切り換える。

3 外部機器を操作して、再生を開始する。

4 音量を調節する。

外部機器を適切な音量にし、本機のVOLUME-/+ノブを回して調節します。

再生を開始しても音が出ないときは

上記の手順で再生を開始した後、音量を調節しても音が出ないときは、外部機器に入力が切り替わっていない可能性があります。このような場合は、いったん本機の音量を下げてから、再度INPUTボタンを押してください。

ご注意
・ラジオまたはワイヤレスイヤホン等の内部機器を接続した場合、放送が受信できない、または感度が大きく低下することがあります。

・使用しないときは、接続ケーブル(別売り)をドックから抜いてください。差したままにしておくと、ノイズが発生する原因となることがあります。

△ヒント
リモコンでは、I/OボタンとVOL+/−ボタン、INPUTボタンを使って操作できます。

ご注意
・ラジオまたはワイヤレスイヤホン等の内部機器を接続した場合、放送が受信できない、または感度が大きく低下することがあります。

・使用しないときは、接続ケーブル(別売り)をスピーカー本体から抜いてください。差したままにしておくと、ノイズが発生する原因となることがあります。

△ヒント
リモコンでは、I/OボタンとVOL+/−ボタン、INPUTボタンを使って操作できます。

リモコンを使う前に

お買い上げ時には、リモコンに電池が入っています。

お使いになる前に、絶縁シートを引き抜いてください。

リモコンを使うときは

スピーカー本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

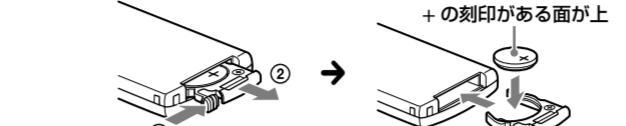
ご注意
・スピーカー本体のリモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。

・スピーカー本体の設置場所や向きによって、リモコン操作できないことがあります。

リモコンの電池交換について

電池が消耗すると、リモコンで操作できる距離が短くなります。

新しいリチウムボタン電池CR2025(別売り)と交換してください。



リチウムボタン電池についてのご注意

・接觸不良を防ぐため、使用する前に電池ケースの中と電池を乾いた布でよく拭いてください。

・金属製のピッセットなどで電池をつかまないでください。ショートするおそれがあります。

△警告

・子供の手の届かないところに置いてください。万一電池を飲みこんだ場合は、直ちに医師と相談してください。

・+と-の向きを正しく入れてください。

・充電や分解しないでください。

・電池を交換するときは、必ず同じ種類のリチウムボタン電池CR2025を使用してください。

車で使う

準備する

車内でiPodの音楽を聞くために必要なものを準備します。

- ・スピーカー本体
- ・フィッティングクッション
- ・ストラップ
- ・取り付け金具
- ・ネジ
- ・シガーエンジンコード
- ・iPod接続ケーブル
- ・iPod(別売り)

設置する

本機を車で使うときは、スピーカー本体